

トヨタ純正

フェンダーランプ

取付要領書

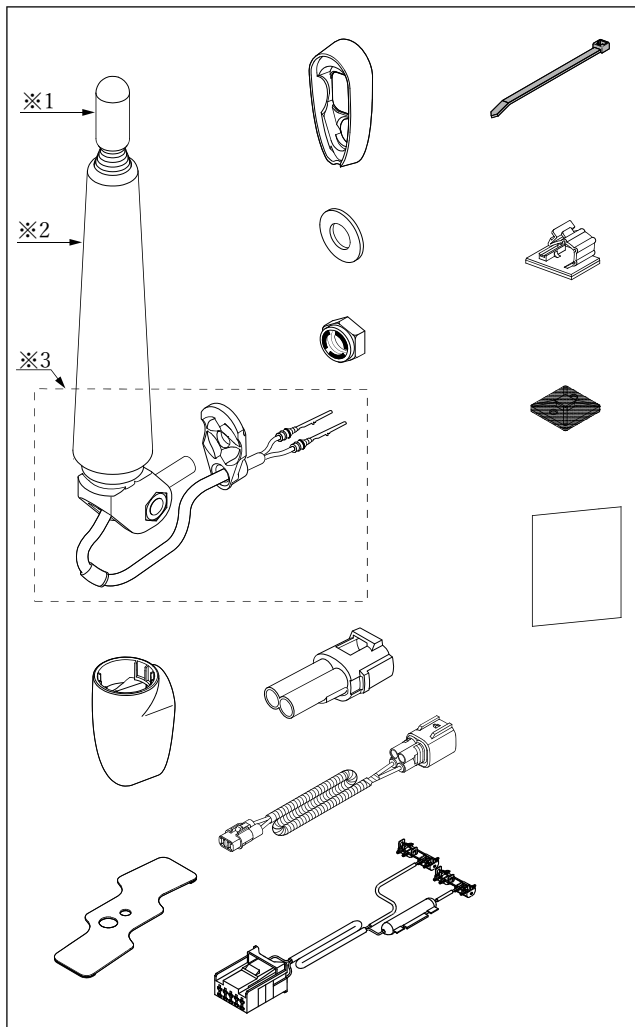
このたびは、トヨタ純正「フェンダーランプ」をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、「フェンダーランプ」の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

品番 08510-12A80

「取扱書」に自動洗車機使用時の注意事項が記載されております。
お客様へご説明くださいますようお願いいたします。

構成部品



No.	品名	品番	個数
①	フェンダーランプAssy	※1, ※2, ※3	1
②	アウターベゼル	0851C-00071	1
③	ブラケット	————	1
④	フィッティングラバー	0851A-12050	1
⑤	ワッシャー (6mm)	————	1
⑥	セルフロックナット(M6)	————	1
⑦	ハウジング	————	1
⑧	ハーネスNo.1	————	1
⑨	ハーネスNo.2	————	1
⑩	クランプ	————	14
⑪	シェルクリップ	————	2
⑫	バンドホルダー	————	1
⑬	型紙	————	1

補給品

※1 ポール	補給品番：08514-12130	1
※2 ポールカバー	補給品番：0851C-00101	1
※3 ベースサブAssy	補給品番：0851C-00111	1

ワッシャー (6mm) セルフロックナット(M6)
ベースアタッチメント

取付に必要な工具等

一般工具、ハサミ、メジャー、画鋸、ドリル($\phi 3.0$)($\phi 6.5$)($\phi 10.0$)、電動ドリル、トルクレンチ、接着テープ、マスキングテープ、ビニールテープ、ガムテープ、脱脂剤【イソプロピルアルコール(IPA)純度100%推奨】、ウエス、保護メガネ

始業点検

通常のキーによるエンジン始動・停止、ドアロック・パワーウィンドウ・灯火装置等の電気系統の作動確認を実施してください。

取付上の注意事項

(1) この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しております。

▲ 注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。
注意	注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。
アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (3) バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。
- (4) バンドホルダー・シェルクリップの取り付け面に油脂分や汚れが付いていますと、脱落や剥がれの原因になりますので脱脂剤等で充分に拭き取り、使用される際は火気を近づけないよう充分注意してください。

取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす



裏側に注意する

ハーネスのかみ込みに注意



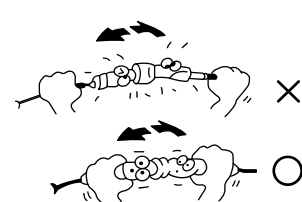
部品の取り付けは

- 寸法の合った工具を使う



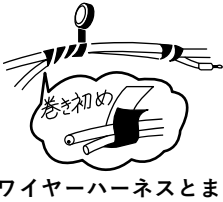
配線は

- コネクターは本体を持ってはずす



- ブラブラさせない

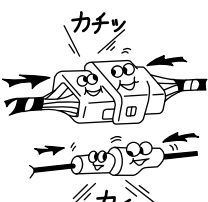
巻き初め



車両のワイヤーハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する

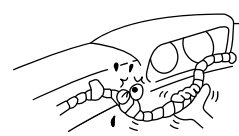
- コネクターは確実に接続

カチッ



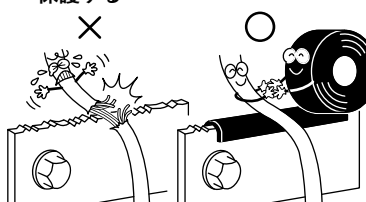
カチッ

- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する

×



- 防水処理を行う

防水 OK



グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする

- 車両部品が確実に復元できるようワイヤーハーネスを処理する

×



ナットOK? カチッ

フリップ

カチッ

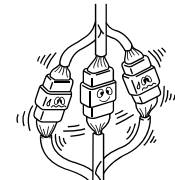
クランプは

- クランプは締め過ぎないようにする

- 余った部分をカットする

- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する


- コネクターを異音がないようにクランプする



取り付け完了後は


- 車両部品は確実に復元する

×



- 車両部品は確実に復元する

カチッ



▲ 注意

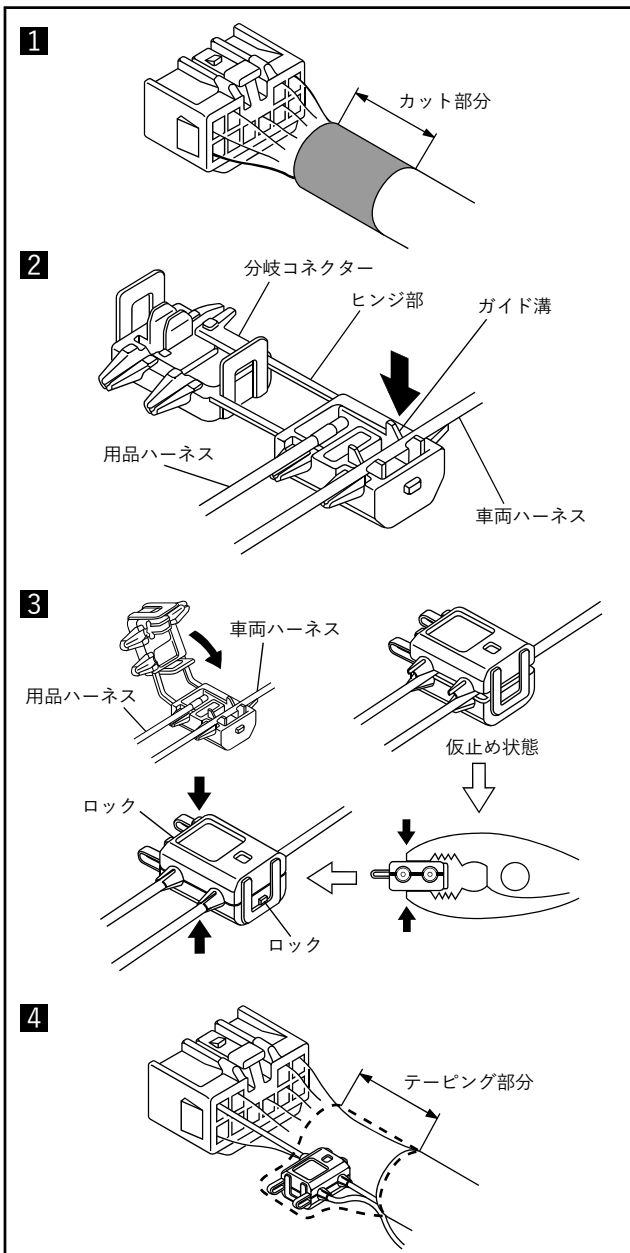
バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないように充分注意してください。

分岐コネクターの接続方法

分岐コネクター使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも、必ず車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック(2ヶ所)が確実にかん合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても、確実にロック(2ヶ所)できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

分岐コネクターの接続手順



1 接続する車両ハーネスがビニールチューブおよびビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。

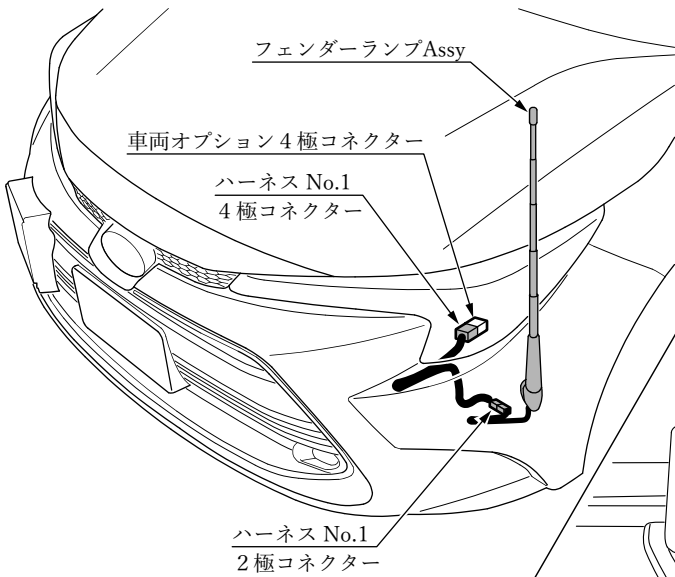
2 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

3 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。
(クリック音を確認)

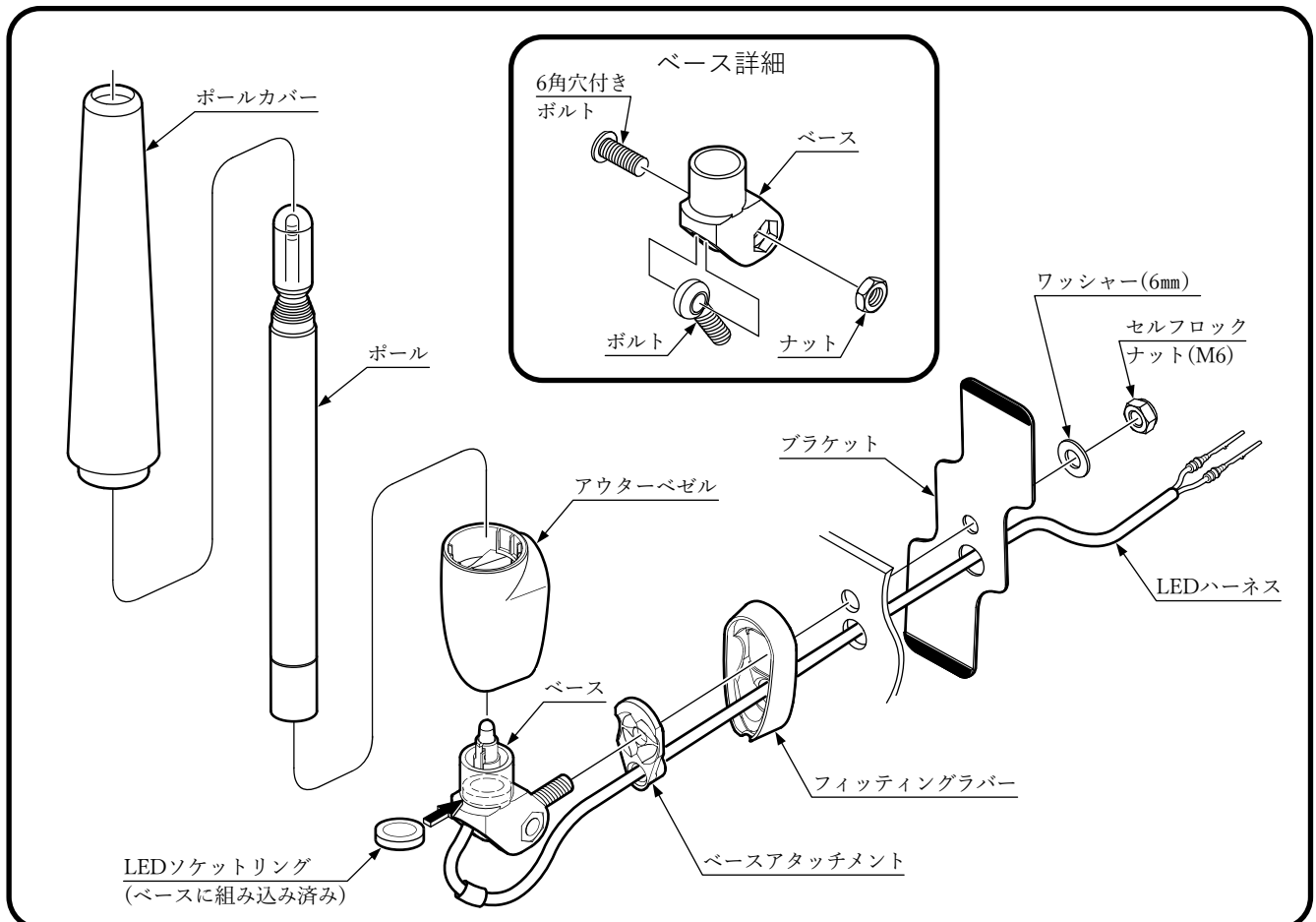
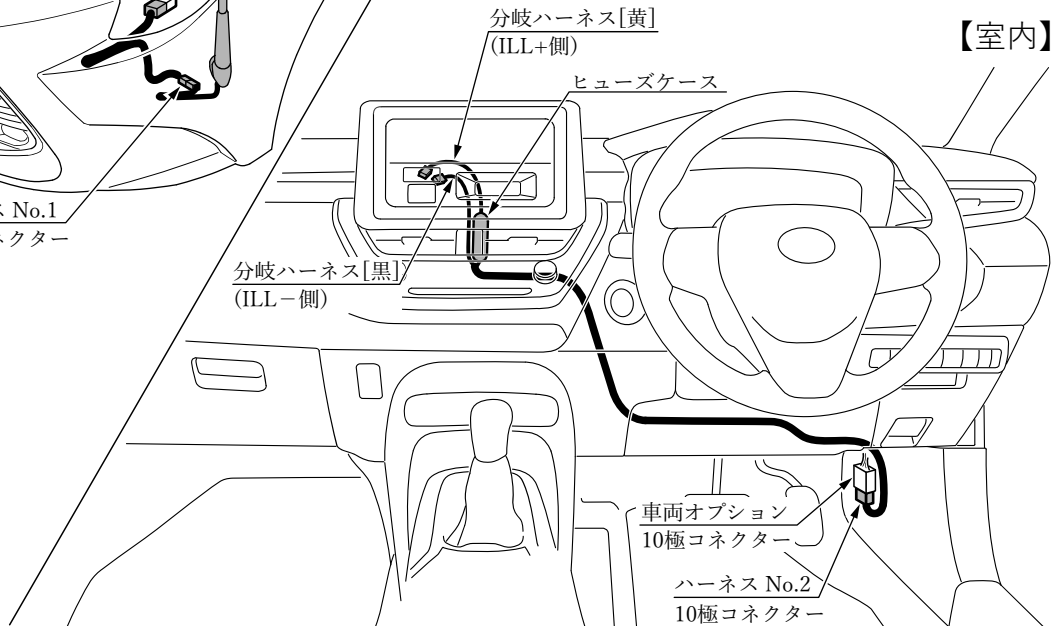
4 分岐コネクター接続位置を、テーピング処理してください。

配線概要

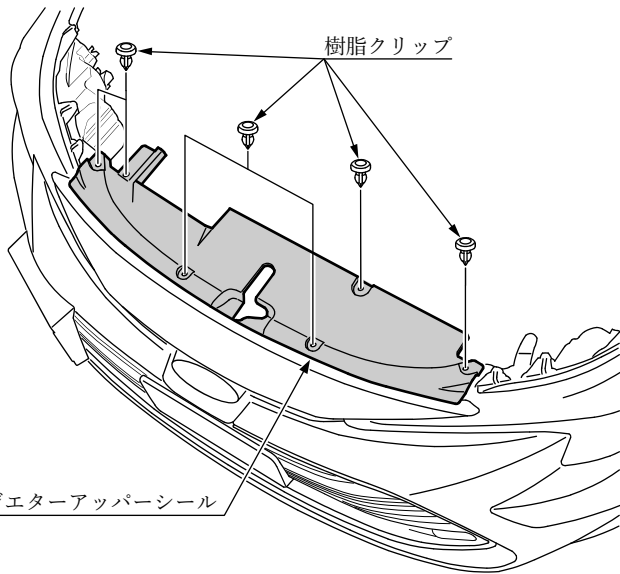
【室外】



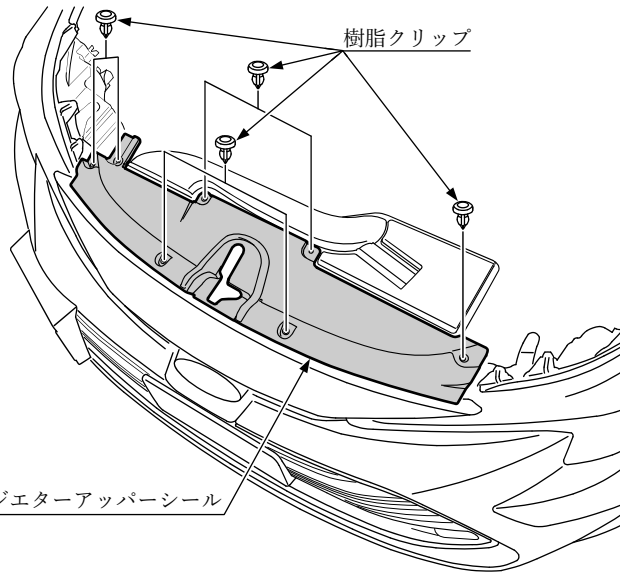
【室内】



ハイブリッド車の場合



ガソリン車(MT)の場合



1 車両部品の取りはずし

(1) ラジエターアッパーシール

■ハイブリッド車の場合

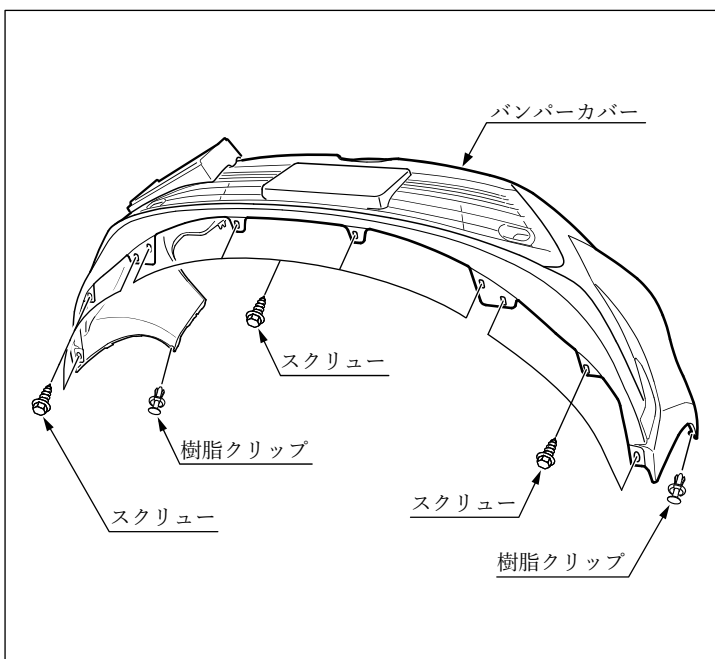
- ①上部の樹脂クリップ(6本)をはずす。
- ②ラジエターアッパーシールを取りはずす。

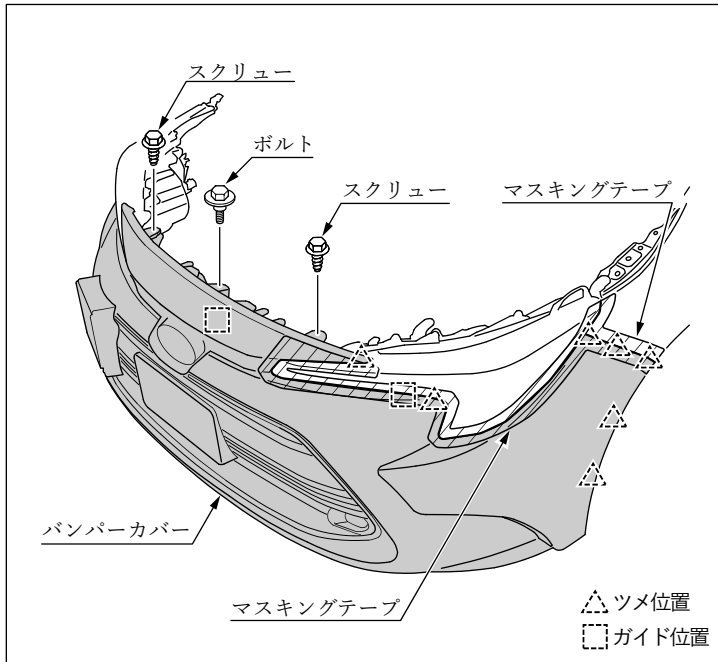
■ガソリン車(MT)の場合

- ①上部の樹脂クリップ(7本)をはずす。
- ②ラジエターアッパーシールを取りはずす。

(2) バンパーカバー

- ①下部のスクリュー (10本) をはずす。
- ②樹脂クリップ (2本) をはずす。



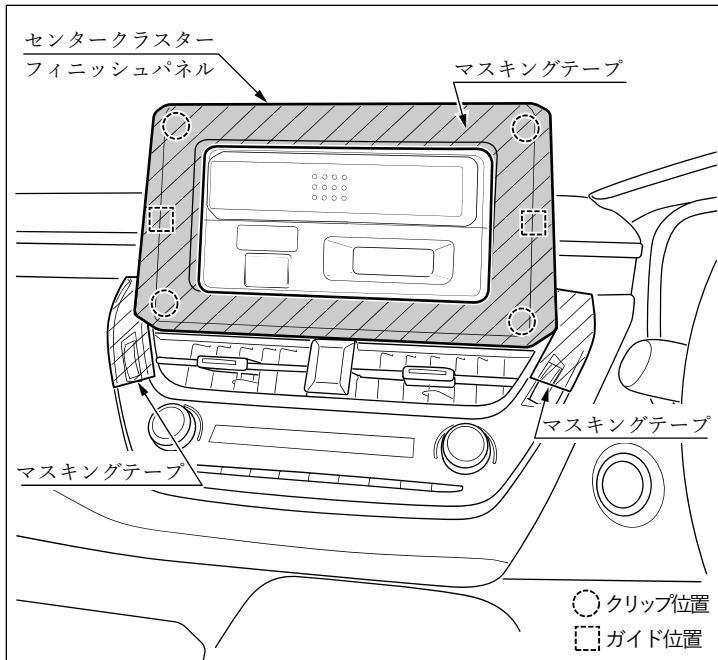


③左図 \square 位置にマスキングテープを貼る。

アドバイス

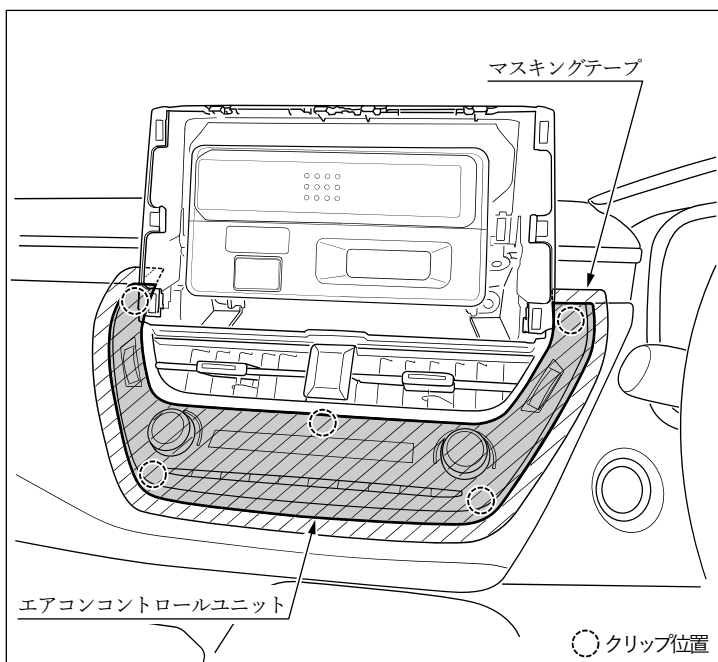
左図は(LH)を示しておりますが、(RH)も同様にマスキング処理を行ってください。

- ④上部のボルト (1本)、スクリュー (2本) をはずす。
- ⑤バンパーカバーを取りはずす。



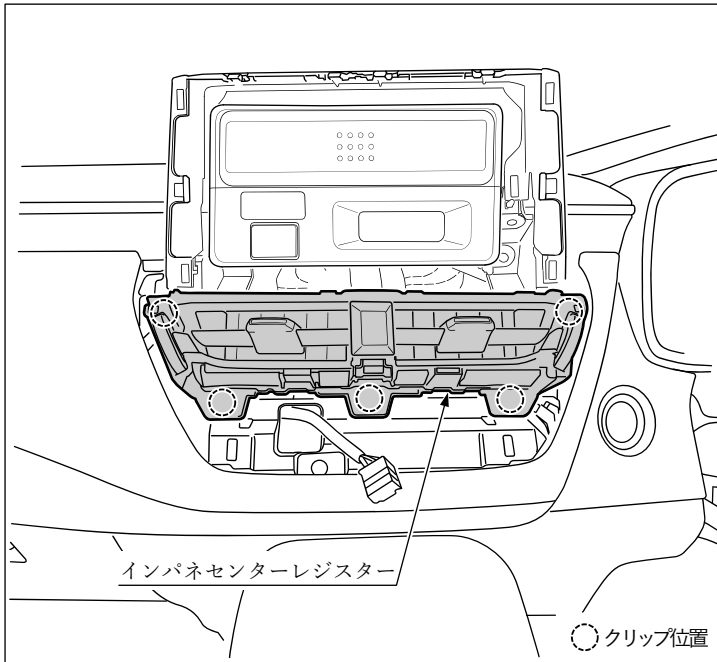
(3) センタークラスターフィニッシュパネル

- ①左図 \square 位置にマスキングテープを貼る。
- ②センタークラスターフィニッシュパネルを取りはずす。



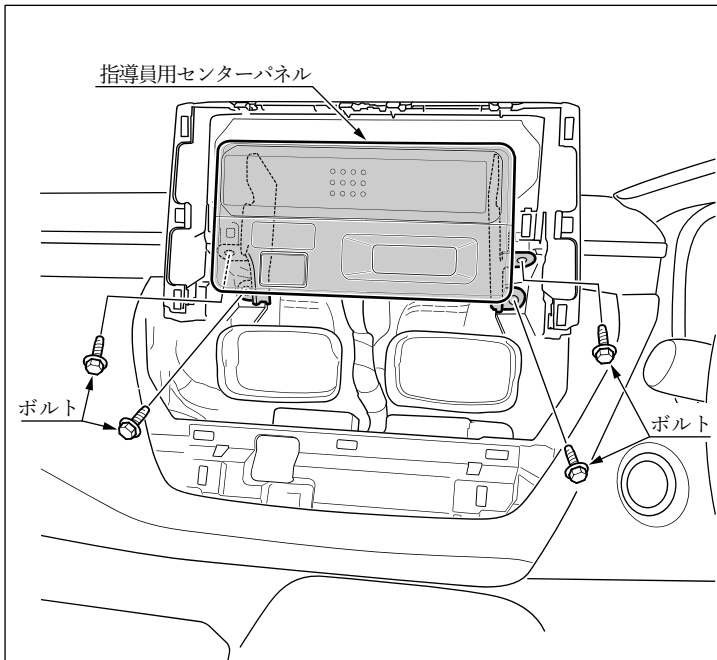
(4) エアコンコントロールユニット

- ①左図 \square 位置にマスキングテープを貼る。
- ②エアコンコントロールユニットを取りはずす。



(5) インパネセンターレジスター

- ① インパネセンターレジスターを取りはずす。

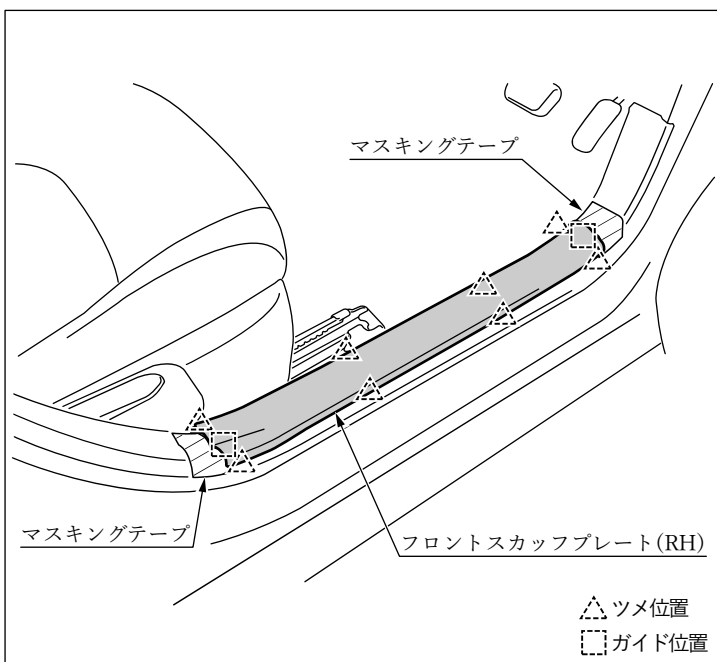


(6) 指導員用センターパネル


- ① ボルト (4本) をはずす。
② 指導員用センターパネルを取りはずす。

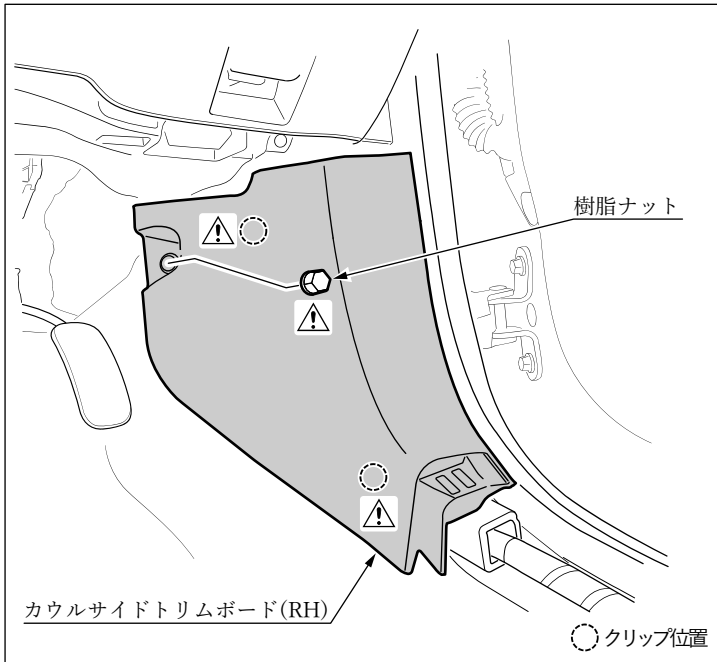
⚠ アドバイス

装備品により図と異なる場合がありますが同様に取りはずし作業を行ってください。



(7) フロントスカッププレート (RH)

- ① 左図  位置にマスキングテープを貼る。
② フロントスカッププレート (RH) を取りはずす。

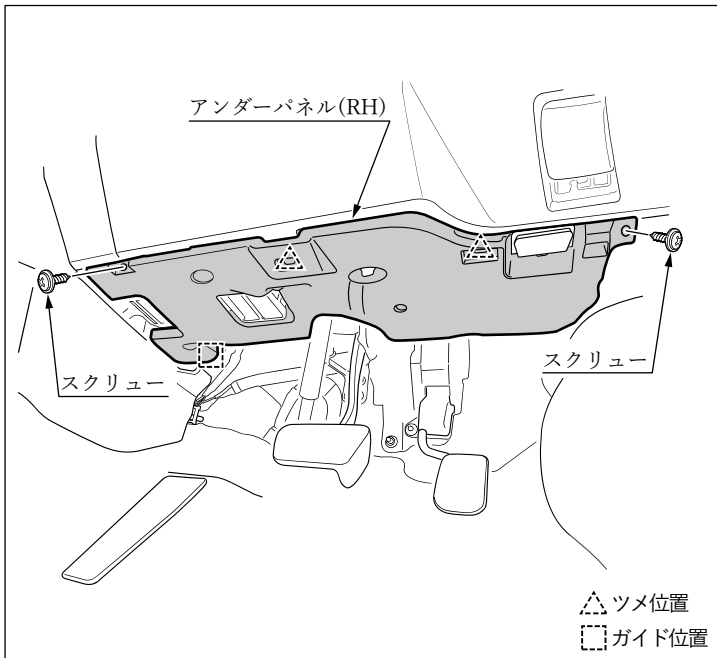


(8) カウルサイドトリムボード(RH)

- ①樹脂ナット(1本)をはずし、カウルサイドトリムボード(RH)を取りはずす。

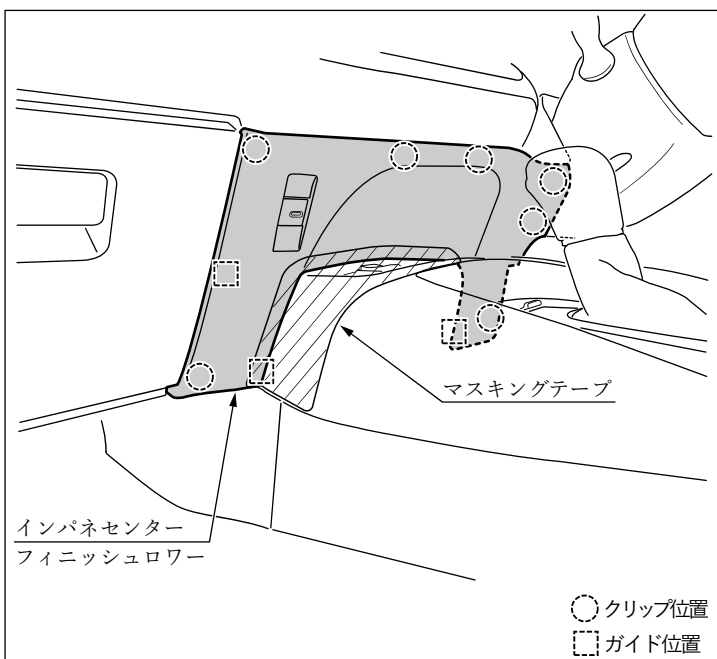
注意

復元の際、樹脂ナット及クリップが確実に
かん合していることを必ず確認してください。



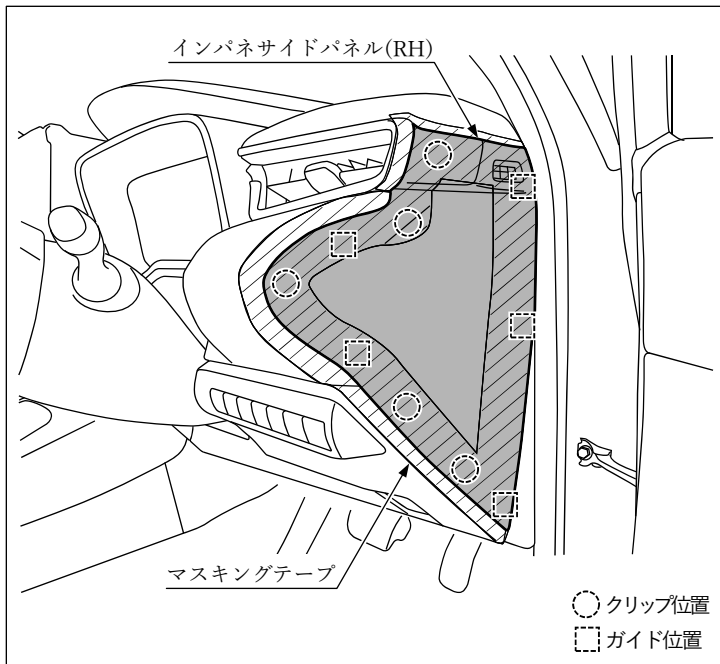
(9) アンダーパネル(RH)

- ①スクリュー(2本)をはずす。
- ②アンダーパネル(RH)を取りはずす。




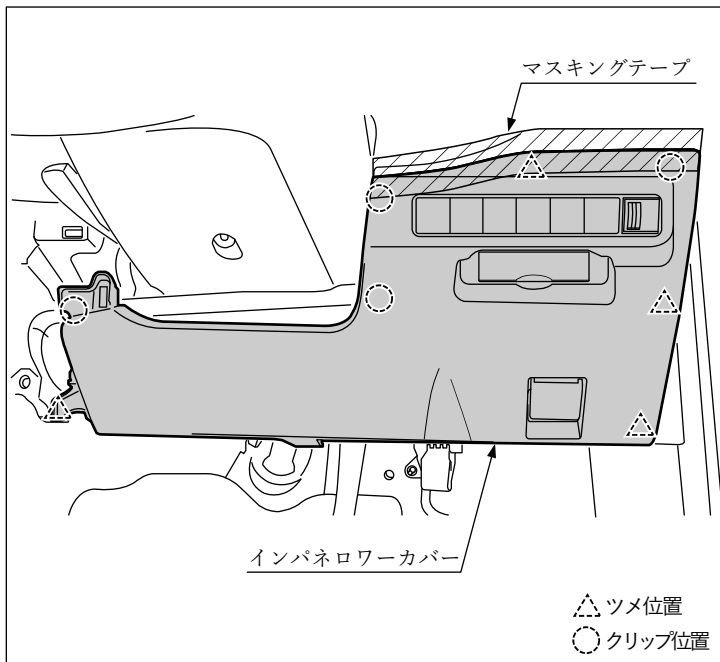
(10) インパネセンターフィニッシュロワー

- ①左図[斜線]位置にマスキングテープを貼る。
- ②インパネセンターフィニッシュロワーを取りはずす。




(11) インパネサイドパネル(RH)

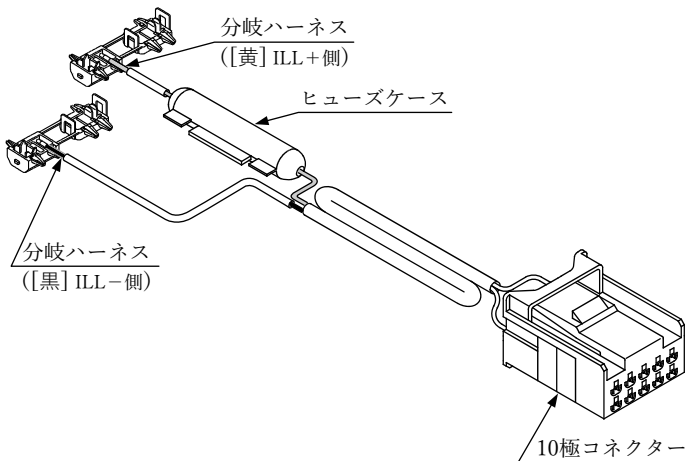
- ①左図位置にマスキングテープを貼る。
- ②インパネサイドパネル(RH)を取りはずす。



(12) インパネローカバー

- ①左図位置にマスキングテープを貼る。
- ②インパネローカバーを取りはずす。

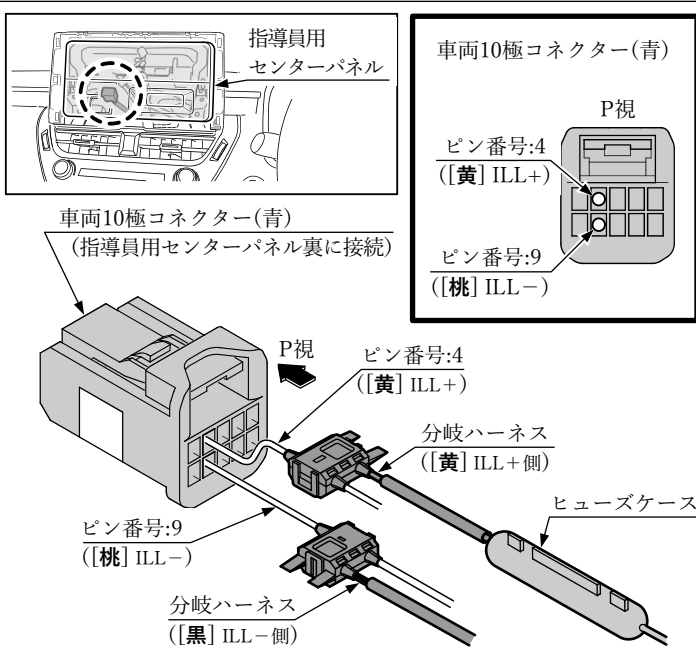
ハーネスNo.2



2 配線作業 (室内)

(1) ハーネスNo.2の各部名称確認

- ① ハーネスNo.2の各部名称を確認する。



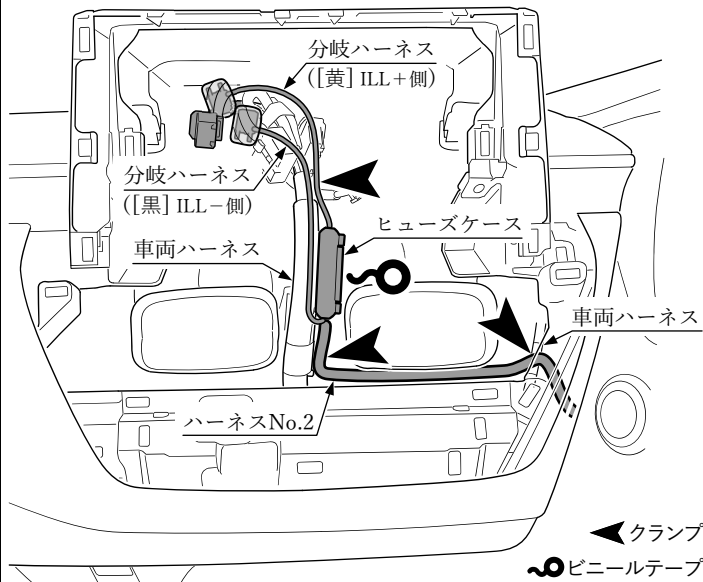
(2) 分岐ハーネスの接続

- ① 指導員用センターパネル裏に接続されていた左図 () 部の車両10極コネクタ(青)を確認する。
- ② ハーネスNo.2の分岐ハーネス([黄] ILL+)を車両10極コネクタ(青)の車両ハーネス([黄] ILL+)に接続する。
- ③ ハーネスNo.2の分岐ハーネス([黒] ILL-)を車両10極コネクタ(青)の車両ハーネス([桃] ILL-)に接続する。

👉 アドバイス

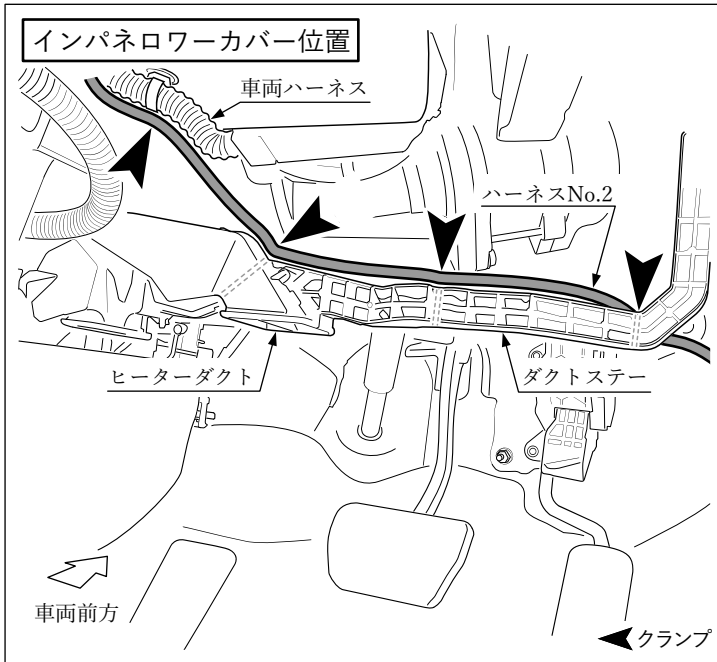
1. 巻頭の**分岐コネクタの接続手順**をお読みください。
2. 必ず左図の接続位置を確認してから作業を行ってください。

指導員用センターパネル位置

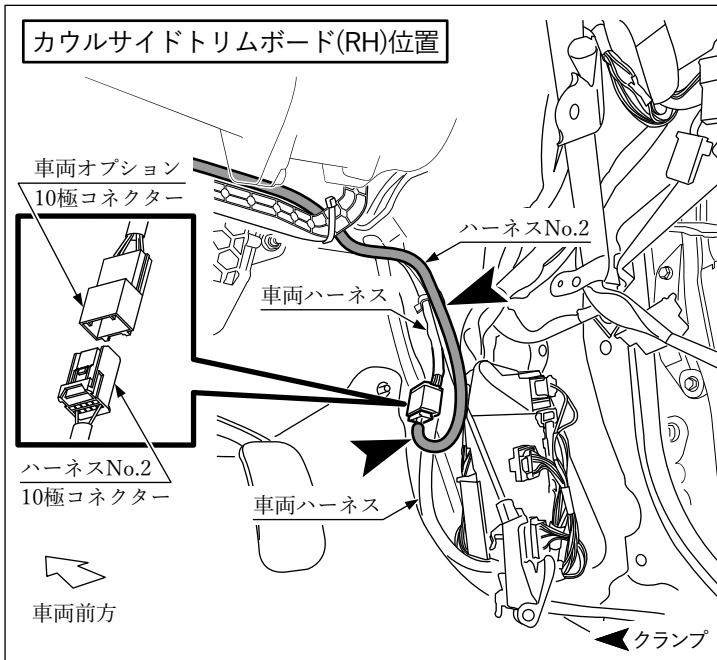
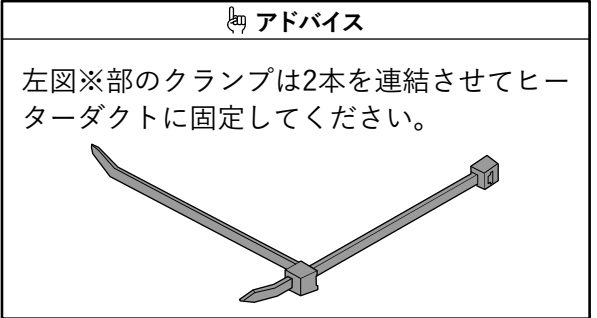


(3) ハーネスNo.2の接続

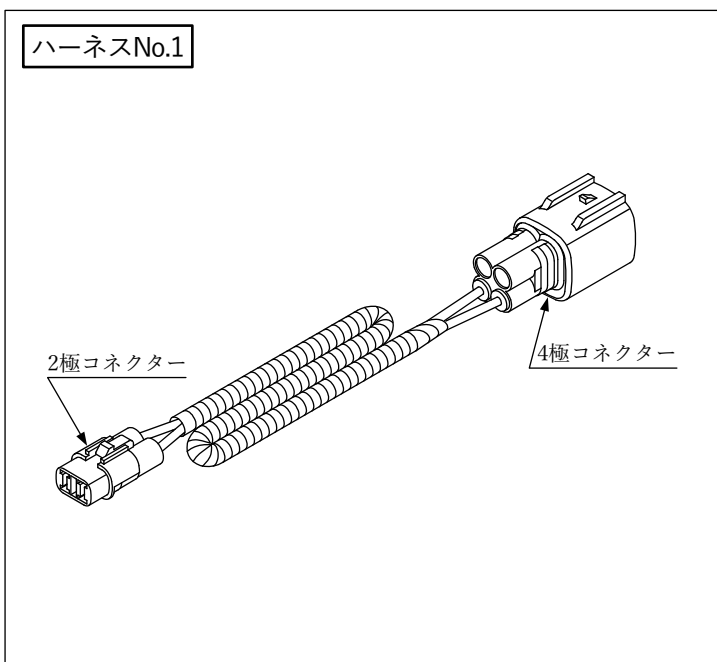
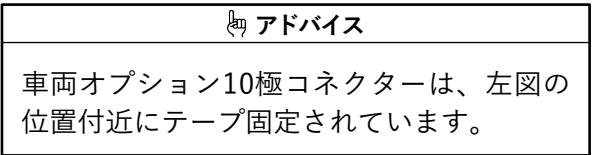
- ① ハーネスNo.2を左図のように配線し、ヒューズケースを、左図 () 位置(1ヶ所)でビニールテープにて車両ハーネスに固定する。
- ② ハーネスNo.2を、() 位置(3ヶ所)でクランプにて車両ハーネスに固定する。



- ③ハーネスNo.2を左図のように配線し、◀位置(4ヶ所)でクランプにて車両ハーネス及びヒーターダクト、ダクトステーに固定する。



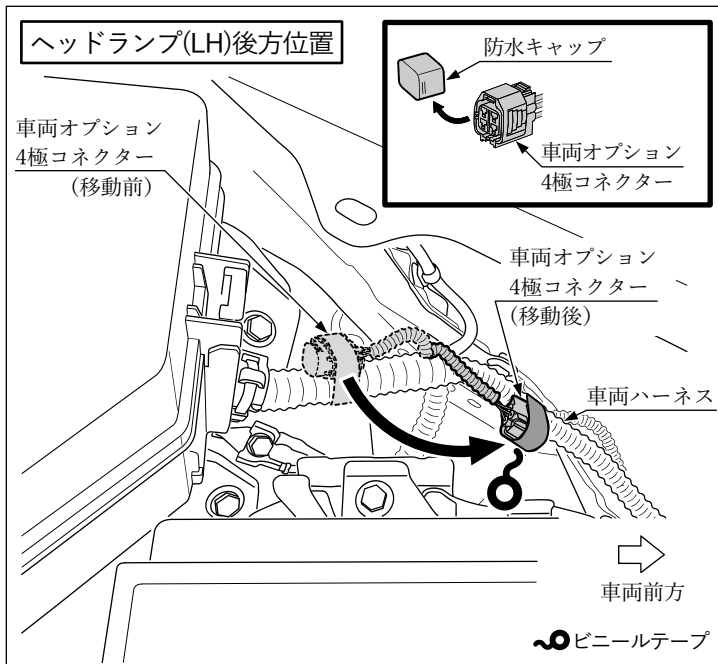
- ④車両オプション10極コネクタに、ハーネスNo.2の10極コネクタを接続する。
- ⑤ハーネスNo.2を左図のように配線し、◀位置(2ヶ所)でクランプにて車両ハーネスに固定する。




3 配線作業 (室外)

- (1) ハーネスNo.1の各部名称確認

- ①ハーネスNo.1の各部名称を確認する。

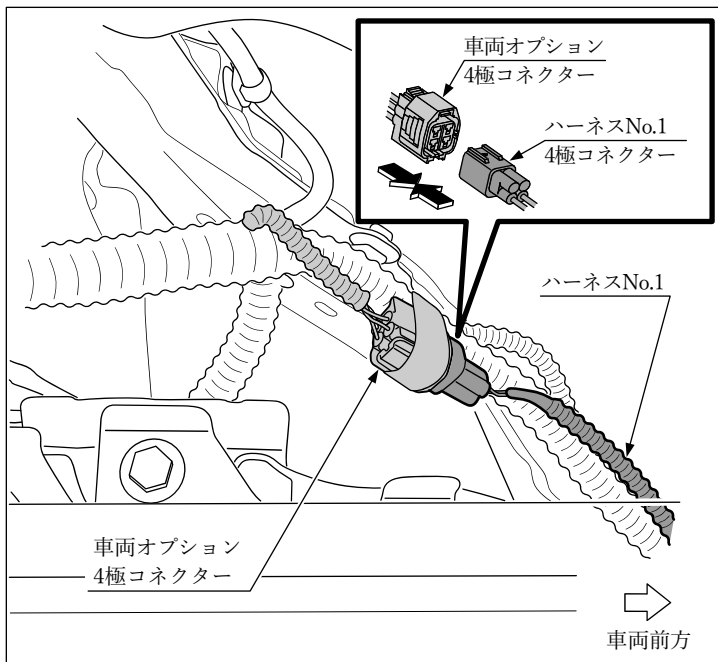


(2) ハーネスNo.1の配線

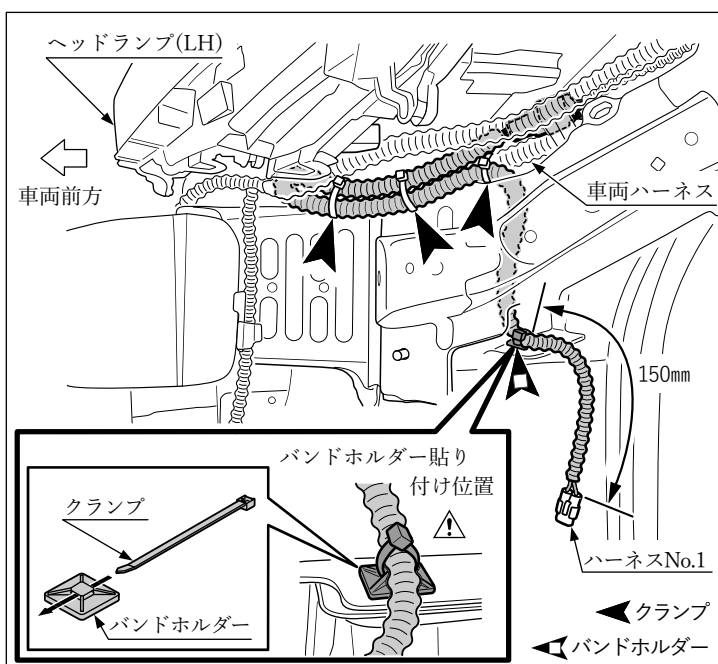
- ① 車両オプション4極コネクタを固定しているテープをはがし、防水キャップを取りはずす。
- ② 車両オプション4極コネクタを左図のように移動し、位置(1ヶ所)でビニールテープにて車両ハーネスに固定する。



アドバイス

1. イラストはハイブリッド車を示しておりますが、ガソリン車も同様に配線を行ってください。
2. イラストは、説明のためにヘッドランプ(LH)を省略してあります。



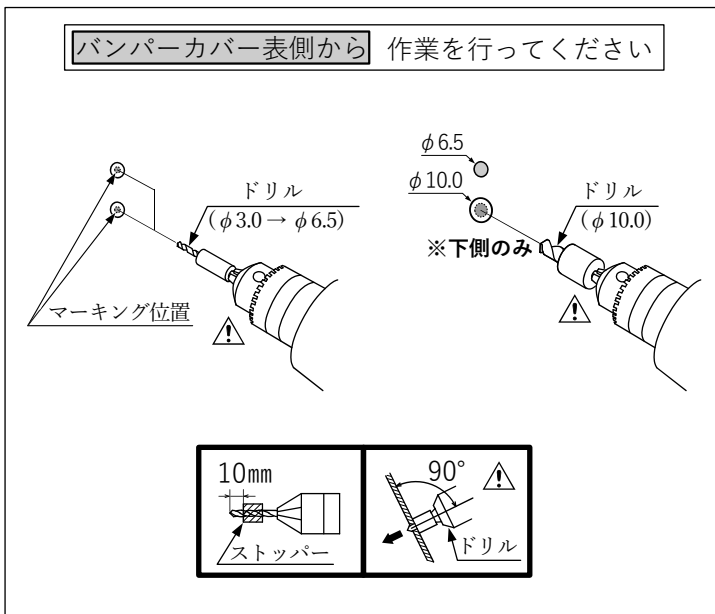
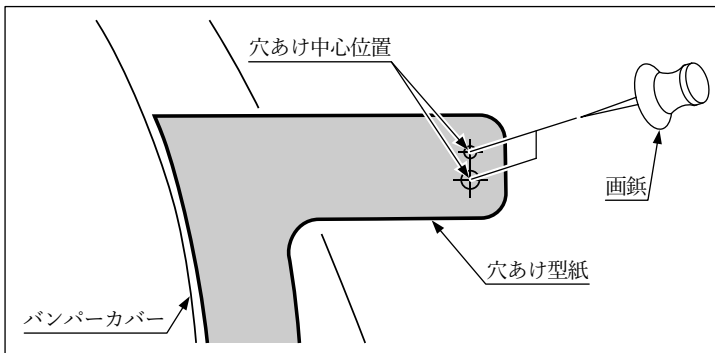
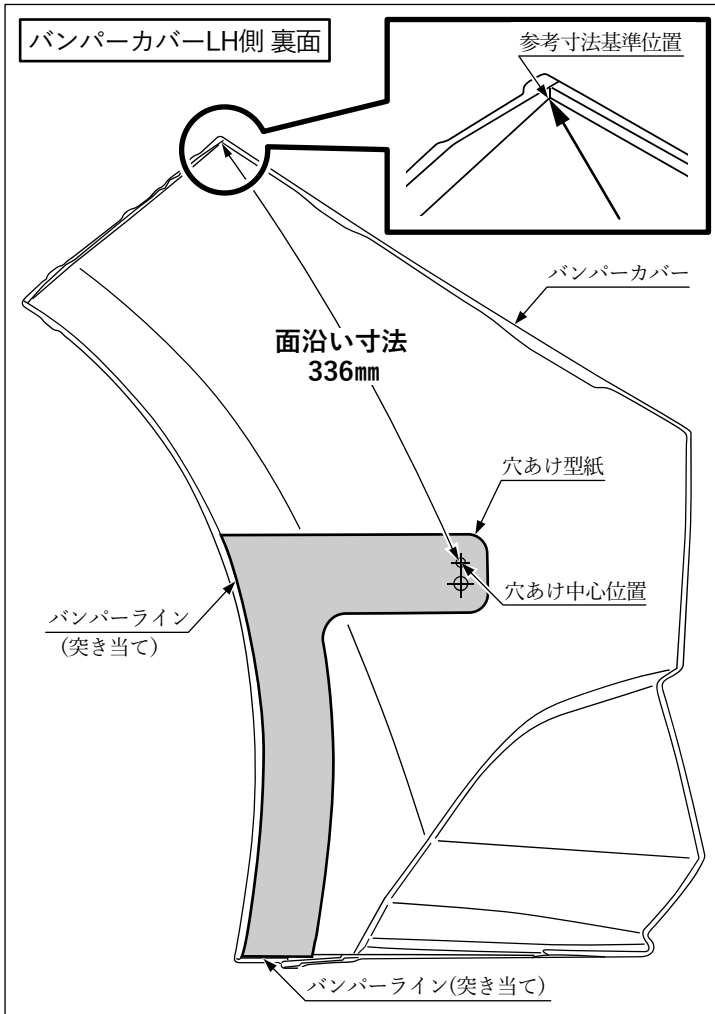
- ③ ハーネスNo.1の4極コネクタと車両オプション4極コネクタを接続する。



- ④ ヘッドランプ(LH)下側の左図位置(1ヶ所)にクランプを通したバンドホルダーを貼り、ハーネスNo.1の2極コネクタまでの長さを150mmに調整して固定する。
- ⑤ ハーネスNo.1を左図のように配線し、位置(3ヶ所)でクランプにて車両ハーネスに固定する。

注意

バンドホルダーは、取り付け面の油脂分や汚れを脱脂剤等で拭き取ってから貼り付けてください。



4 バンパーカバーの穴あけ

(1) 型紙の貼り付け

- ① 穴あけ型紙を切り離し、左図のようにバンパーカバーLH側裏面のバンパーライン(突き当て)に合わせ接着テープにて仮止めする。
- ② 左図枠内の参考寸法基準位置(バンパーカバー突き当て)から穴あけ型紙の上側φ6.5の中心まで面沿い寸法で336mmになるように調整し、接着テープにて本固定する。

👉 アドバイス

面沿い寸法はバンパーカバー裏面をメジャーで沿わせた寸法としてください。参考寸法基準位置から穴あけ中心位置までの最短寸法ではありません。

(2) 穴あけ作業

- ① 穴あけ型紙の穴あけ中心位置(2ヶ所)をバンパーカバー表側まで画鋏を貫通させてマーキングする。
- ② 穴あけ型紙を取りはずす。
- ③ ドリル(φ3.0)(φ6.5)(φ10.0)の先端部より10mmの部分にガムテープを巻き、ストッパーを設ける。

👉 アドバイス

穴あけする前に、最終的にあける穴の大きさを型紙で確認をしてください

- ④ バンパーカバー表側より、マーキング位置(2ヶ所)にドリル(φ3.0)にて下穴をあける。
- ⑤ 下穴(2ヶ所)をドリル(φ6.5)にて穴を拡げる。
- ⑥ 下側の穴(1ヶ所)のみ、ドリル(φ10.0)にて穴を拡げる。

⚠️ 注意

電動ドリルを使用する際、必ず保護メガネを着用し、ドリルに巻き込まれる恐れがある為、手袋等は着用しないでください。

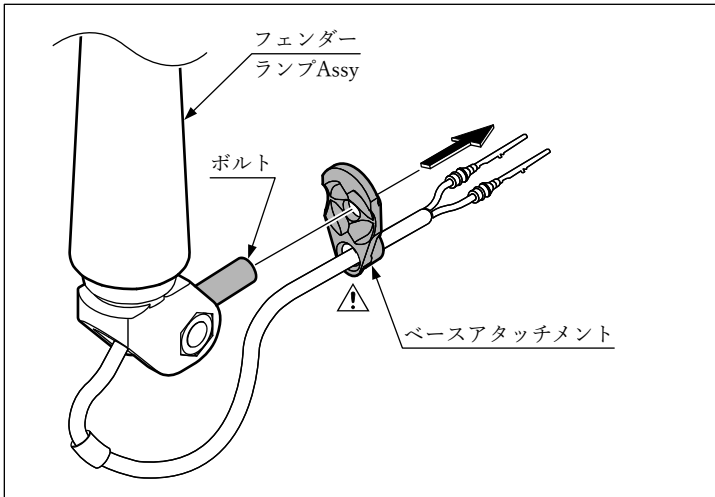
注意

穴あけするバンパーカバー面に対して斜めにならないように垂直(面直)に穴をあけてください。

5 本体の取り付け

(1) フェンダーランプAssyの仮固定

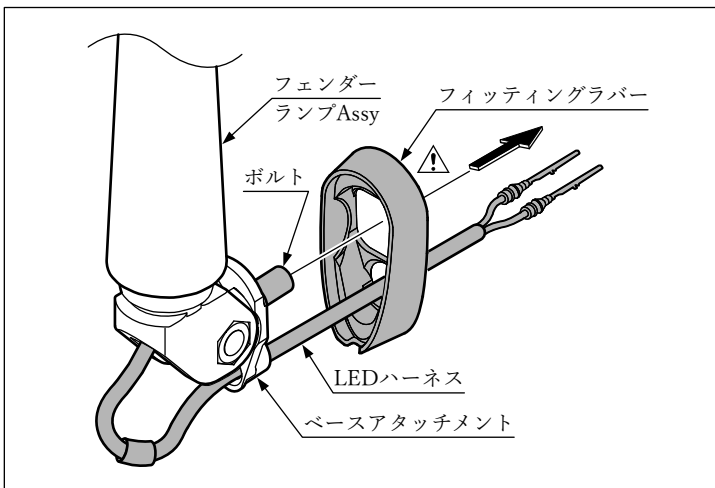
- ① フェンダーランプAssyのボルトをベースアタッチメントの上側の穴へ通す。



注意

取り付けの際、ベースアタッチメントの向きに注意してください。

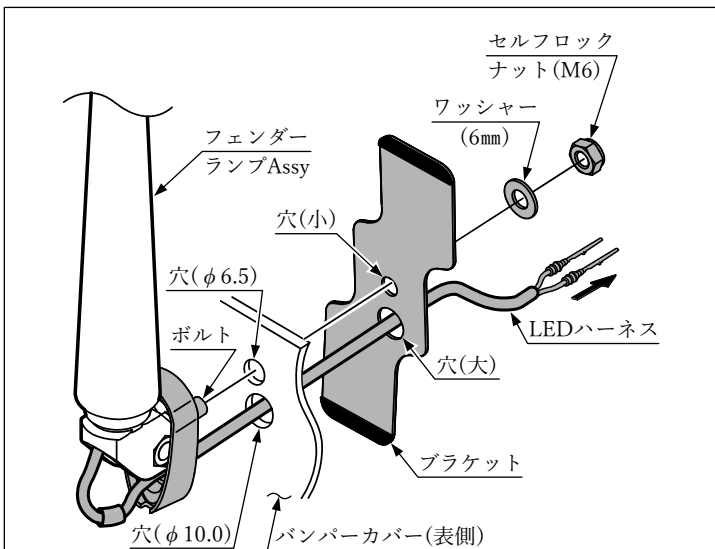
- ② フェンダーランプAssyのボルトをフィッティングラバーの上側の穴へ、LEDハーネスを下側の穴へ通し、ベースアタッチメントとフィッティングラバーを組み合わせる。



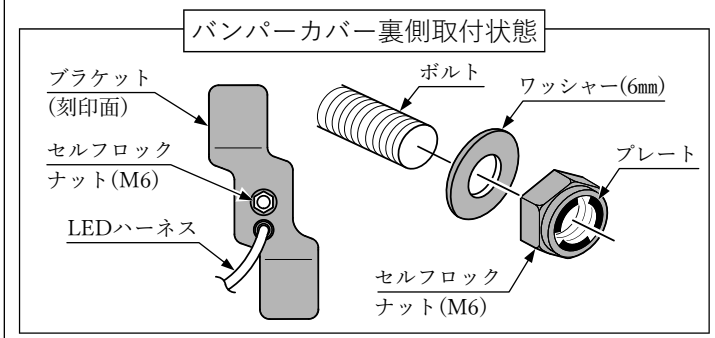
注意

取り付けの際、フィッティングラバーの向きに注意してください。

- ③ バンパーカバー表側より、バンパーカバーにあけた穴($\phi 10.0$)へLEDハーネスを通す。
- ④ バンパーカバー表側より、バンパーカバーにあけた穴($\phi 6.5$)へフェンダーランプAssyのボルトを通す。
- ⑤ バンパーカバー裏側より、ブラケットの穴(小)にボルトを通し、穴(大)にLEDハーネスを通す。
- ⑥ ボルトにワッシャー(6mm)を通し、セルフロックナット(M6)にて仮固定する。

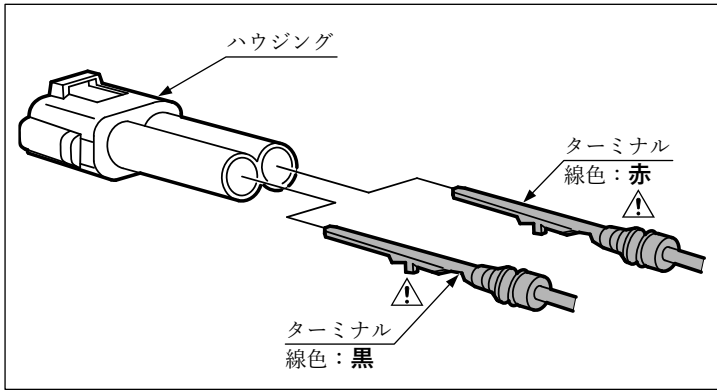


取り付けの際、ブラケット及びセルフロックナットの向きとワッシャーの取り付け忘れに注意してください。



アドバイス

組み付けの際はフェンダーランプAssyのボルトに対して、セルフロックナット(M6)のプレート面が左図の向きになるように仮固定してください。

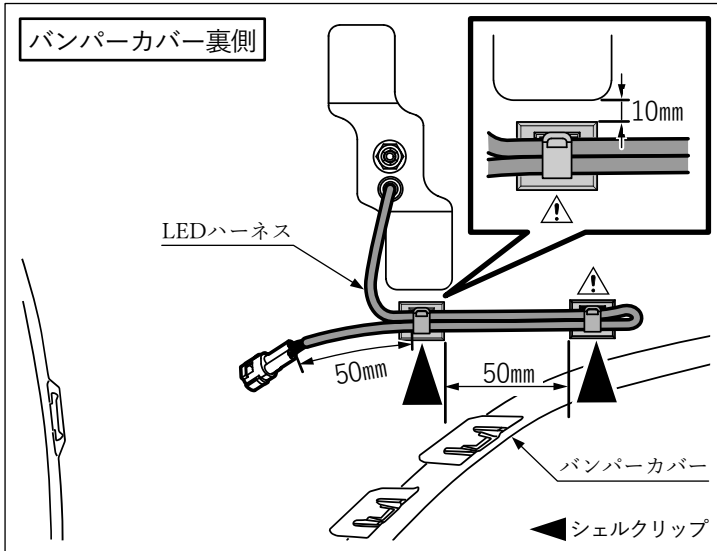


(2) ハウジングの取り付け

- ① LEDハーネスのターミナルを左図のようにハウジングに挿入する。

注意

ターミナルを挿入する際、ターミナルの線色・方向を間違えないように注意してください。また、ターミナルはカチッと節度感のある部分まで挿入し、ロックした事を確認してください。誤接続や挿入不足は、端子抜けや水入り、作動不良の原因となります。



(3) LEDハーネスの固定

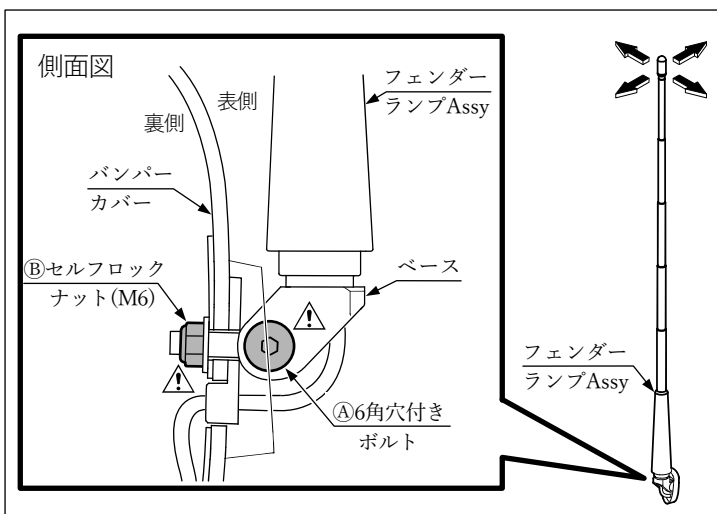
- ① 左図のようにバンパーカバー裏側の◀位置(2ヶ所)にシェルクリップを貼り、LEDハーネスを固定する。

注意

シェルクリップは、取り付け面の油脂分や汚れを脱脂剤等で拭き取ってから貼り付けてください。

アドバイス

シェルクリップは、左図寸法になるように貼り付けてください。

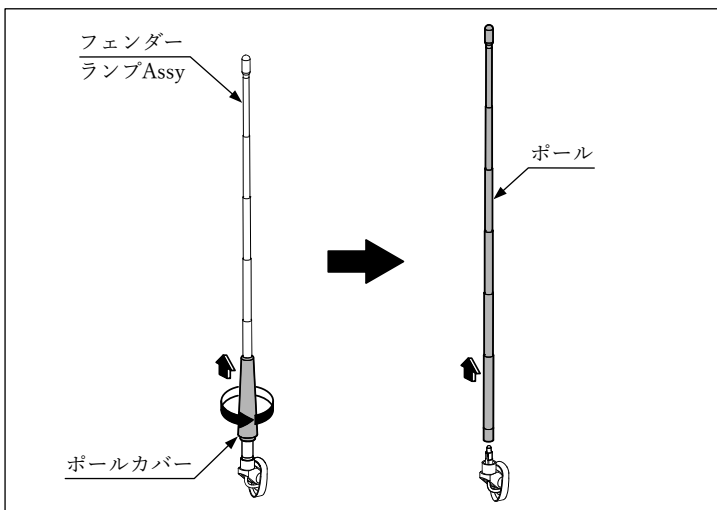


(4) ポールの垂直調整

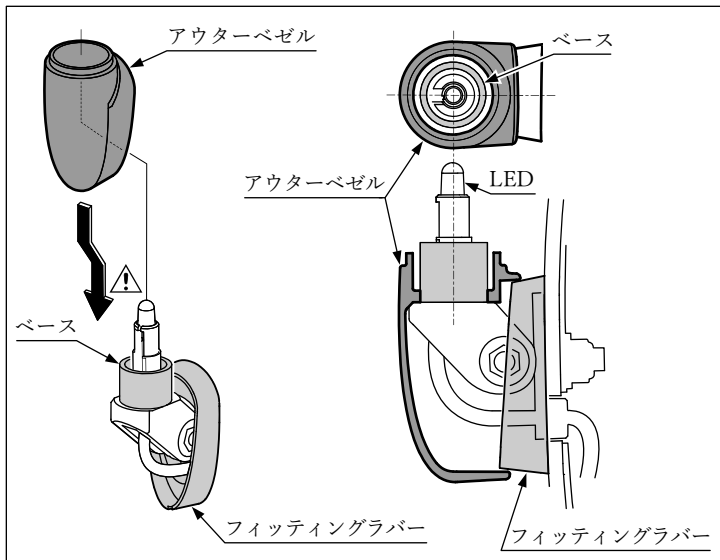
- ① バンパーカバーを仮復元する。
② フェンダーランプAssyを垂直状態に調整する。
③ 垂直状態を保ちながらA六角穴付きボルトを締め、その後、バンパーカバー裏側のBセルフロックナット(M6)を締める。

注意

- 六角穴付きボルトはベースが破損する恐れがありますので締め付け過ぎに注意してください。※4.0N・m以下
- セルフロックナットは、下記の締め付けトルクを厳守してください。
■締め付けトルク：T=6.5N・m



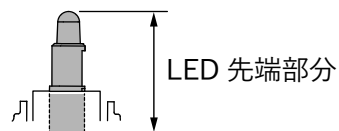
- ④ フェンダーランプAssyのポールカバー、ポールを取りはずす。



⑤アウターベゼルをベースに通し、フィッティングラバーにかぶせる。

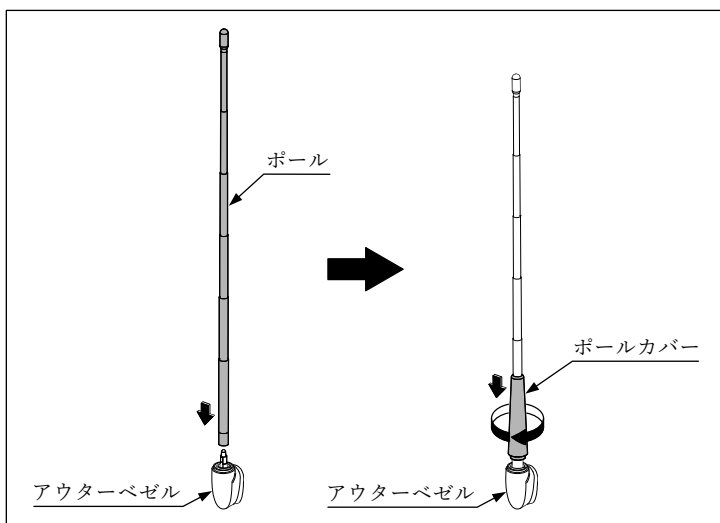
注意

取り付けの際、LED先端部分を傷つけないように注意してください。

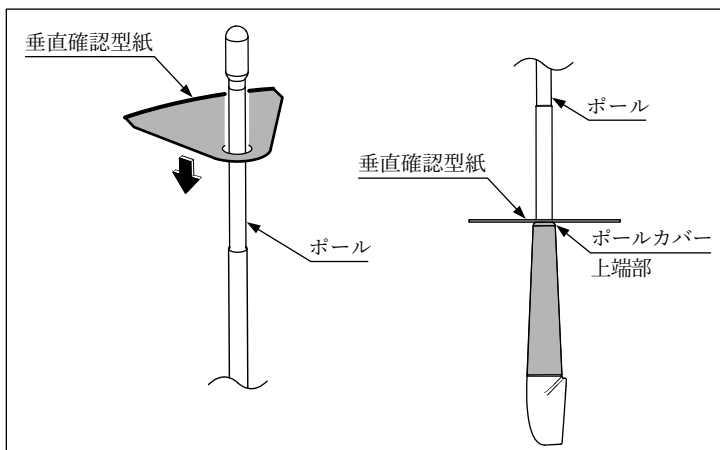


アドバイス

アウターベゼルとベースの中心が合っていることを確認してください。

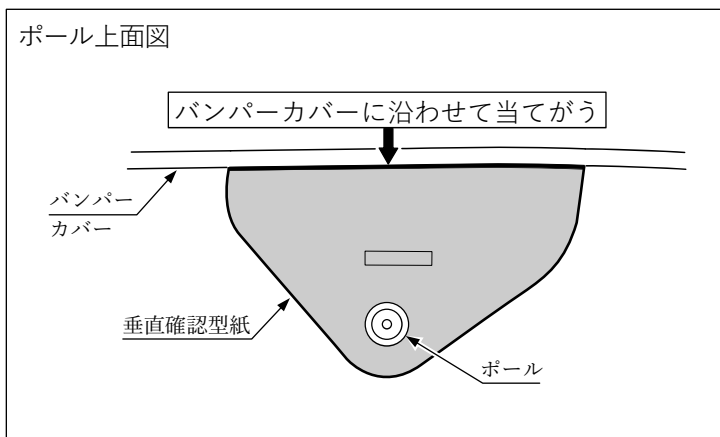


⑥ポール及びポールカバーを、取りはずしと逆の手順でベースに組み付け、アウターベゼルを固定する。

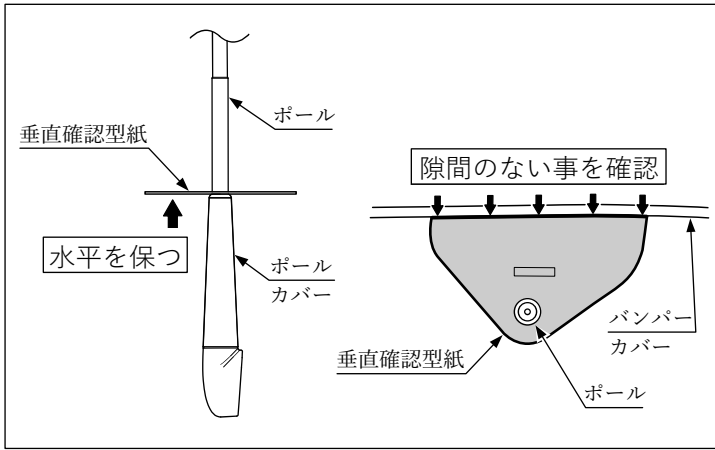


(5) ポールの垂直確認

①垂直確認型紙を切り離し、ポールに通してポールカバー上端部に乗せる。



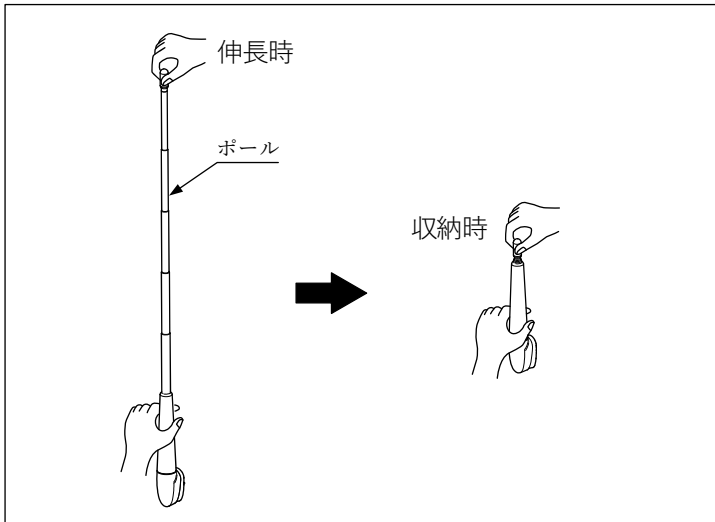
②垂直確認型紙を、左図のようにバンパーカバーに沿わせて当てがう。



- ③垂直確認型紙を水平に保ち、バンパーカバーとの間に隙間のない事を確認する。

アドバイス

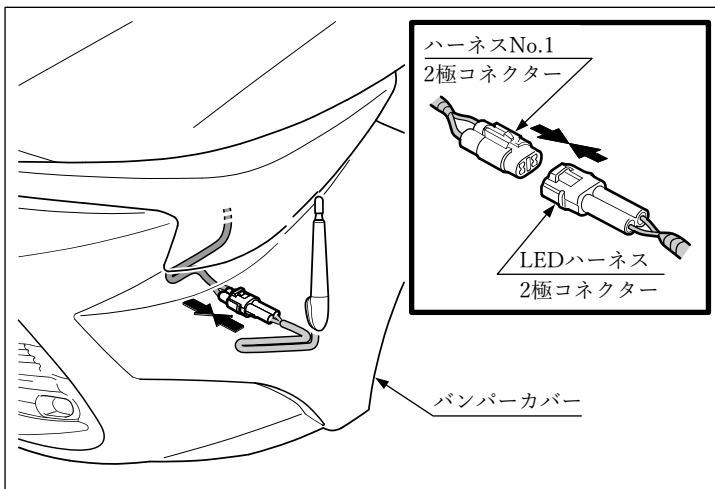
型紙とバンパーカバーに隙間がみられる場合、垂直調整の作業をもう一度行ってください。



- ④フェンダーランプを収納時の状態にする。

アドバイス

1. フェンダーランプの伸縮操作は、左図のように両手で行ってください。
2. フェンダーランプの長さ調整は、作業完了後取扱書を参考に最終調整してください。



- (6) コネクタの接続

- ①ハーネスNo.1の2極コネクタとLEDハーネスの2極コネクタを接続する。
- ②バンパーカバーを復元する。

アドバイス

コネクタが接続しにくい場合は、LEDハーネスを固定しているシェルクリップのロックを一時的にはずし、先にコネクタを接続してからロックし直してください。

取付完了後の確認

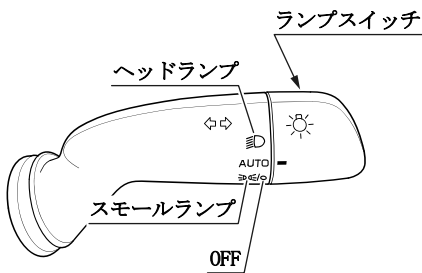
1. 取付の確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検する。
- (2) 特に車両ハーネス及び用品ハーネスを無理やり押ししたり、引っ張ったり、かみ込んだりしていないか点検する。
- (3) クランプのはずれや、部品の締め付け忘れはないかもう一度確認する。

2. 作動確認

- (1) バッテリー（-）端子を接続し、下記方法により確認する。

< 点灯方法 >



ランプスイッチ	点灯 (フェンダーランプ)
ヘッドランプ	○
スモールランプ	○
OFF	×

※AUTOモードでは、オート機能に連動して点灯/消灯しますのでそれに準ずる作動となります。

復元作業

1. 車両部品の復元

「作動確認」完了後、取りはずした部品を元通りに取り付けてください。ただし、下記の点に注意して作業を行ってください。

- ・復元作業に伴うハーネス(車両側及び用品側)のかみ込み。
- ・車両部品の損傷。

2. バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

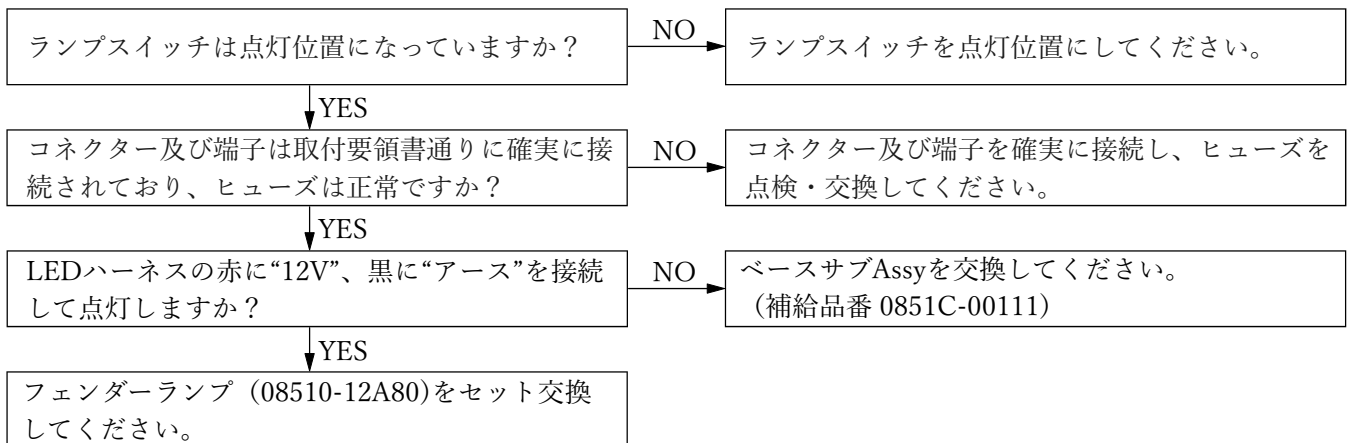
※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

最終確認

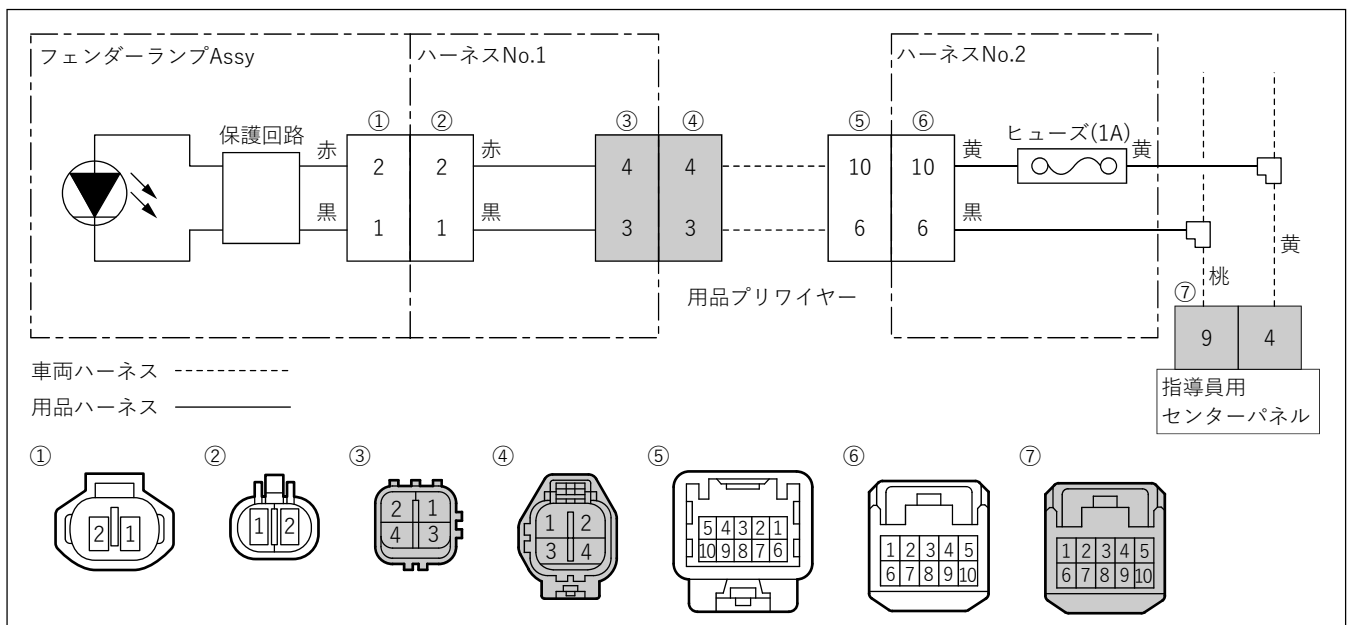
	確認項目	チェック欄
1	取りはずした車両部品は確実に復元されているか？	
2	クリアランスランプ・ターンシグナルランプ・フォグランプは点灯及び作動するか？	

トラブルシュート

点灯しない



配線図



※ 上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しております。

仕様

項目	仕様
定格電圧	DC12.0V
消費電流	19mA
使用電圧範囲	DC10.0V~16.0V
使用温度範囲	-20°C~+60°C
使用光源	LED

※ 仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

取付店殿へのお願い

●必ずお客様に操作要領を説明してください。